## 地区会 開催

## 東京B地区会



平成28年2月9日(火)、渋谷エクセルホテル東急において、東京B地区会(代表幹事:安永登、情報技術開発(株)代表取締役会長)が開催された。参加者は50名。

開会にあたり安永代表幹事から「IoT 時代がいよいよ本格的に始まる。今日の 講演でスマートシティの最新情報を得て ほしい。」と挨拶があった。

はじめに経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 中智晴課長補佐から、IoT 推進ラボや攻めのIT経営銘柄などIT利活用について、ITベンチャーや未踏IT人材発掘についてなど経済産業省のIT施策の動向について説明があった。

続いて JISA 活動報告では、「JISA Spirit」について JISA Digital Masters Forum 2015 での「JISA 会長からのメッセージ」動画を見た後、JISA 河野憲裕副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(特サビ動態統計、DI 調査)、労働者派遣法の改正などについての説明、国際会議関係の報告などがあった。

休憩を挟んで、亜細亜大学都市創造学部教授で総務省電子政府推進委員の岡村久和氏による講演「世界で活発化 スマートシティの最前線ビジネスIT」が行われ、岡村氏はIOS標準や森林産業のIT化、オーストリア電子政府の事例などスマートシティの最新動向について紹介した。



## 東京A地区会



平成 28 年 2 月 12 日(金)、J J K 会館において、東京 A 地区会(代表幹事:安藤文 男、アイエックス・ナレッジ(株) 代表取締役社長)が開催された。参加者は83 名。

開会にあたり安藤代表幹事より「年明けから株価暴落、円高、日銀のマイナス金利といろいろなことが起きている。変化の年に対応できるよう、地区会を、よく見て、良く聞いて、良く話をする場としたい。」と挨拶があった。

議事に入り、まず経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 石渡靖士課長補佐から、IoT 推進ラボの概要や関連規制改革について、攻めの IT 経営銘柄選定とその取組事例の紹介、攻めの IT 経営中小企業百選についてなどデジタルビジネス時代における経済産業省の情報化政策について説明があった。

次のJISA活動報告では、「JISA Spirit」についてJISA Digital Masters Forum 2015 での「JISA 会長からのメッセージ」動画を見た後、JISA 河野憲裕副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(特サビ動態統計、DI 調査)、労働者派遣法の改正などについての説明、国際会議関係の報告などがあった

休憩を挟んで、(株)野村総合研究所 コンサルティング事業本部 主席コンサルタントの桑津浩太郎氏による講演「2020年の IT 産業展望~IoT、人工知能等のインパクト~」が行われた。桑津氏は豊富なデータを示しながら、今後の市場、業界、人材不足など IT 産業について展望し、「IoT は神経網、AI は脳である」とこれからの IT ソリューションについて語った。

## 中部地区会

平成28年2月15日(月)、名古 屋観光ホテルにおいて、中部地区 会(代表幹事:田中孝明、(株)中電 シーティーアイ 代表取締役社長) が開催された。参加者は45名。

開会にあたり田中代表幹事から「デジタル革命時代に突入し、IT 業界が活躍できる場が広がっている。チャンスを捉えて積極的にチャレンジしたい。」と挨拶があった。



続いて JISA 原孝副会長が「現場の方々が参加することが、これからの JISA を作っていく。いろいろな形で会員が交流する場を作っていきたいと思っている。」と 挨拶した。

次に経済産業省 中部経済産業局 地域経済部 次世代産業課 情報政策室 甲斐聖也室長補佐が「IoT、セキュリティをキーワードに中部地区の IT 産業推進に取り組みたい。製造業だけでなくあらゆる業種に IT の力を活かしてほしい。」と挨拶された。

議事に入り、まず経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 辻洋祐総括係長から、IoT 推進ラボや攻めの IT 経営銘柄など IT 利活用について、IT ベンチャーや未踏 IT 人材発掘についてなど経済産業省の IT 施策の動向について説明があった。

続いて JISA 活動報告では、「JISA Spirit」について JISA Digital Masters Forum 2015 での「JISA 会長からのメッセージ」動画を見た後、JISA 河野憲裕副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(特サビ動態統計、DI 調査)、労働者派遣法の改正などについての説明、国際会議関係の報告などがあった。

休憩を挟んで、「歴史を明日に」と題して博物館明治村 主任学芸員 中野裕子氏の講演が行われた。中野氏は歴史(人が生きてきた跡)を伝えるために、重要な歴史的資料である建物や人の暮らしに関わる物を残していくことの大切さについて語った。